

教育のICT化が進んでいます！

児童生徒の情報活用能力の育成や、「主体的・対話的で深い学び」の実現のためには、教員一人一人のICT活用指導力の向上が求められています。そこで、教員は夏季休業期間を利用して校内研修や総合教育センター等が実施する研修に積極的に参加し、学んだ知識や技能を身に付け、授業や校務での活用につなげています。

研修の様子

総合教育センターで行われた夏季研修の様子

授業や校務での端末活用

Google Workspace for Education 研修

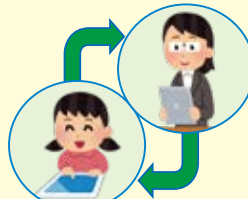
GIGAスクール構想も3年目に入り、授業や校務で端末を活用する場面が多くなってきました。「どういった学習活動を行えばよいのか」「どのように活用していくのか」「校務を効率的にするためには」といった、ICTの活用をさらにステップアップするための新しい課題が出てきています。それらの課題解決のヒントとなる研修を、初級編と中級編に分けて行いました。

算数の授業研修：学習アプリを活用した授業の実践

令和4年度の算数・数学科研究委員会では、「ロイロノートで活用できる教材の開発」をテーマに、「一人一人の理解状況や能力に合わせて学ぶ方法」や、「周りの人と情報を共有したり、対話したりする力」に焦点をあてた研究を行いました。研究委員会で作成したデジタル教材の使用方法や効果的な場面での実践方法を学びました。



授業・校務での活用例



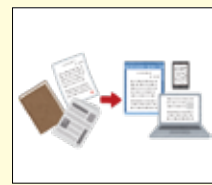
学習用アプリで課題提出

学校では、多くの会議や行事が行われるたびに資料や計画書が作成されます。それらをすべて電子化することで、紙の使用を大幅に削減しています。



GoogleFormsで欠席連絡

Google Formsを活用し、保護者からの欠席連絡を受け取ることができます。朝の短い時間でも、教員は端末上で欠席者を確認できます。



資料をデータ化して紙の削減

学校では、多くの会議や行事が行われるたびに資料や計画書が作成されます。それらを電子化することで、紙の使用を大幅に削減しています。



遠隔での授業や会議への参加

Google Meet等を活用し、児童生徒が登校できない時などは、遠隔で授業を受けられます。また、教員の研修や会議等にも活用されています。

わが校の給食自慢レシピ 田喜野井小学校編

『小松菜マフィン』

材料（6～7個分）

小松菜パウダー…… 大さじ1と1/3(8g)
強力粉…… 150g
ベーキングパウダー…… 小さじ2と1/2(10g)
塩…… ひとつまみ(0.5g)
卵…… 1個(50g)
グラニュー糖…… 大さじ5弱(60g)
牛乳…… 100cc
サラダ油…… 大さじ3と1/2(50g)
マフィンカップ…… 6～7個

作り方

- ① 小松菜パウダー、強力粉、ベーキングパウダー、塩をよく混ぜ合わせる。
- ② 卵にグラニュー糖を加えてよく混ぜる。
- ③ ②に牛乳、サラダ油を加えて混ぜる。
- ④ ③に①を加えて混ぜ、生地を作る。
- ⑤ マフィンカップに生地を入れ、170℃のオーブンで15分ほど焼く。



レシピ紹介

船橋産の小松菜の緑色が鮮やかなマフィンです。小松菜の苦みが少なく、子供からリクエストがあります。今回は小松菜パウダーを使用しました。小松菜パウダーは、出荷時期を過ぎて大きくなった小松菜が、まだ食べられるのに捨ててしまうのはもったいないという生産者の思いから生まれました。小松菜パウダーの代わりに、小松菜の葉をゆでたペーストで作ることもできます。小松菜の旬は冬といわれていますが、ほぼ一年中、手に入れることができます。カルシウム、鉄、βカロテンなどの栄養素も豊富に含まれ、給食でも年間を通じて使用しています。

田喜野井小学校 学校栄養職員 飯盛 和恵

学校へ通えず家庭から出られないお子様のことでお悩みの方は、
《ふれあい「夢のふなっこ」》にご相談ください。
☎ 047-434-6811 火曜日から金曜日 午前10時から午後3時まで

教育情報誌

まなびの風

船橋市総合教育センター 〒273-0863 船橋市東町834番地 TEL 047-422-7730



市立船橋高等学校 ～様々な教育を推進し、更なる深みへ～

スポーツ教育の推進

～インターハイで大活躍～

令和5年度第76回全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が北海道で開催され、陸上競技部、体操部、サッカー部、水泳部が出場し活躍しました。陸上競技部は、男子4×100mリレーで千葉県勢初の全国制覇を達成しました。体操部は昨年度に引き続き全国制覇を達成しました。

陸上競技部



男子4×100m
リレー 優勝
八幡琉空
田原慶人
伊藤晴
馬原浩志郎



男子110mハードル
優勝 山中恭介



女子400m
優勝 宮地利璃香

体操部



団体総合 優勝
角皆友晴
金田晟斗
岡田榮心
坂東優星



個人総合 優勝
あん馬 優勝
平行棒 優勝
角皆友晴
つり輪 優勝
金田晟斗

サッカー部



1回戦 VS 遠野 5-1
2回戦 VS 大津 2-2
(PK 8-7)
3回戦 VS 旭川実業 2-0
準々決勝 VS 日大藤沢 0-1

国際交流教育の推進

4年ぶりに実現！モロー高校が短期交換留学のために来校！

船橋市と姉妹都市提携を結んでいる、米カリフォルニア州ハイワード市にあるモロー高校から留学生10名が6月に来校し、本校生徒と約2週間にわたって交流を深めました。留学生の皆さんは授業や部活動に積極的に参加したり、ホームステイ先で日本の文化や生活様式に触れたりして、有意義な時間を過ごしました。



浅草観光



茶道部とともに茶道体験

表紙絵 阿部 菜穂（坪井中学校 教諭）

商業教育の推進

市船1年生と(株)オカムラホームによる「SDGsフード開発」プロジェクト始動！！

商業科では、1年次「ビジネス基礎」の授業において、地元企業のオカムラホームが主催するフード開発プロジェクトに取り組んでいます。「船橋発！SDGsオリジナルフードを開発・発信」と題して、フードロス食品の開発・販売を行います。開発したSDGsフードは、市船の文化祭はもちろん地元イベントでの販売会や千葉ジェッツの開幕戦での販売も予定しています。このプロジェクトを通して、市民の皆さまのSDGsへの理解が深められるように取り組んでいます。



船橋市産の梨や芋を使用します

ICT教育の推進

ICTの効果的活用による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた環境整備を進めています。

1人1台タブレットを令和6年1月に1・2年生全員に配布となっています。また、令和6年4月に入学生へ配付予定です。これにより来年度から全生徒の手にタブレットが届き、情報端末を活用した授業や教育活動がスタートします。

普通教室・特別教室にはプロジェクトも設置しており、授業だけでなく様々な場面で活用しています。



告知

第2回学校説明会
11月11日(土)開催予定

※お問い合わせは市立船橋高校（047-422-5516）までお願いします

令和5年度 研究指定校・研究奨励校等の紹介

船橋市では、学校ごとに児童生徒の学力向上、授業改善などを目的として研究主題を設定し、研究に取り組んでいます。また、国や県の動向を踏まえ、新しい時代や社会の変化に対応した教育課題の解決に向けて研究学校（研究指定校・研究奨励校）を指定し、本市の教育内容・教育方法等の充実・改善に役立てています。本号では、令和5年度に公開研究会を予定している学校の取組と船橋市教育委員会や千葉県教育委員会、文部科学省の研究指定を受けている学校について紹介します。

船橋市教育委員会 研究指定校

確かな学力の向上 R4～R6	・法典小学校	「自ら学びに向かう児童の育成」 ～対話によって学びを深める授業の工夫～
確かな学力の向上 R5～R7	・習志野中学校	「自己実現を目指し、自ら努力し、確かな学力を身につけた生徒の育成」 ～言語活動を通じて読解力・表現力を伸ばす工夫につながる指導法を目指して～
道徳教育 R3～R5	・峰台小学校	「豊かな心をもち、よりよく生きようとする児童の育成」 ～児童の考えを深める道徳科の学習を通して～
道徳教育 R4～R6	・旭中学校	「他者や周囲とのつながりを意識した道徳教育の実践」
国際理解教育 R5～R9	・葛飾中学校 ・若松小学校	「グローバル社会で求められる資質の育成」 「地球的視野に立って物事を考え、主体的に自分の思いを表現することのできる児童の育成」～国際理解教育の理念を取り入れた教育課程を基盤として～
小中一貫教育 R5～R7	・大穴小学校 ・大穴北小学校 ・大穴中学校	「自ら学びよりよく生きる子供の育成を目指す 小中一貫教育」 ～学びに向かう力を育む授業づくり～
学校体育 R3～R5	・行田中学校	「一人一人が深い学びを具現化し、わかる・できる喜びを味わう体育学習」 ～学びの系統性をとらえ、自己実現できる学習を通して～
学校体育 R5～R7	・西海神小学校	「主体的・対話的で深い学びの実現をめざした体育学習」 ～指導と評価の一体化を通して～
健康教育 R4～R6	・海神中学校	「心の健康教育から活力につながる教育実践」
情報教育 R3～R5	・二宮小学校	「自ら学び、互いに高め合う児童の育成」 ～情報活用能力を生かした創造的な学びを通して～

行田中学校＜学校体育＞

公開研究会 11月1日(水)

「一人一人が深い学びを具現化し、わかる・できる喜びを味わう体育学習」
～学びの系統性をとらえ、自己実現できる学習を通して～

生徒が各種目の特性に触れながら、自ら得た知識を活用し(わかる楽しさ)、課題解決(できる楽しさ)を積み重ねていくことを通して、深い学びの実現に向けて学習に取り組んでいます。



学習のゴールイメージをもとに、ねらいを設定しています。一人一人が単元の見通しをもって学習を進めています。



生徒の実態に合った、技能や学びのポイントをおさえた学習資料を提示することで、生徒の気づきを促しています。



得た知識を活用し、課題解決に向けて、仲間の課題に沿ったアドバイスを発行取り組んでいます。



自らの課題に応じた運動や活動を選択して学ぶことで、「わかる」「できる」喜びを感じることが出来ます。

峰台小学校＜道徳教育＞

公開研究会 11月7日(火)

「豊かな心をもち、よりよく生きようとする児童の育成」
～児童の考えを深める道徳科の学習を通して～

学校生活全体を通した体験活動の充実を図り、児童の考えや道徳的価値を可視化する方法の研究をしています。道徳科の授業を基にして、教育活動全体に広げていく教科等横断的な活動へつなげ、よりよく生きようとする児童を育てます。



教材によって、道徳的価値に関わる児童の考えを引き出す思考ツールを活用しながら、学習を深めます。



道徳的価値に関わる児童の考えを引き出す役割演技や板書の工夫、ICT、道徳ノートを活用しながら、学習を深めます。



教科等横断的デザインフォームを作成し、道徳科と他教科等との関わりを可視化します。



学校生活全体を通した体験活動の充実と他教科や特別活動等における道徳的価値との関係づくりをします。

二宮小学校＜情報教育＞

公開研究会 11月21日(火)

「自ら学び、互いに高め合う児童の育成」
～情報活用能力を生かした創造的な学びを通して～

児童が身に付けた情報活用能力を生かして創造的な学びに取り組みながら自ら課題に働きかけ、他者と協働して学びを深めています。「情報活用能力ベシック」をもとに編成したカリキュラムに沿って、今年度の実践に取り組んでいます。



6学年では、総合的な学習の時間・課題の場面において、日光東照宮と学校に隣接する御嶽神社を比較し、探究していく課題を設定して見通しをもつ学習を行いました。



5学年では、総合的な学習の時間・情報の収集の場面において、町の魅力を伝えるための表現方法の工夫を、他市町村の紹介パンフレットやCMから見つける学習を行いました。



知的障害特別支援学級では、国語科・情報の収集の場面において、タブレット端末を活用して、他校の友達に伝える自己紹介文を相談し合い、作成、練習をしました。



自閉症・情緒障害特別支援学級では、自立活動・情報の収集の場面において、提示された場面の様子に合った表情絵を選び、どのような気持ちになるのかを考えました。

船橋市教育委員会 研究奨励校

主権者教育 R4～R5	・前原小学校	「自分の考えを表現し、主体的に学び合う児童の育成」 ～主権者教育の推進を通して～ 【自主公開日:9月29日(金)・11月27日(月)・12月7日(木)】 「主体的、協働的に課題を追求し続ける生徒の育成」 ～主権者教育の研究を通して～
確かな学力の向上 R5～R6	・高根中学校	「豊かな表現力を身につけ、主体的に学び合う子どもの育成」～相手を意識して自分の考えを伝える～ 「主体的に『挑む』児童の育成」 ～情報活用能力の育成を通して～ 「自ら学ぶ児童の育成」 ～「読む」学習を通して、自分の考えをもち、伝え合う国語科学習～
環境教育 R4～R5	・葛飾小学校 ・八栄小学校	「自分で見通しを持って楽しみながら読む力の育成」 ～言語活動に向かった『問い』と『読みの観点』を活かした学習を通して～ 「わかる授業」の追求～伝え合う力を育むための主体的・対話的で深い学びの実践を目指して～
	・夏見台小学校	「環境問題への理解を深め、実感を伴った授業づくり」 ～『今の自分にできること』を考え、実践する児童の育成を目指して～
	・小室中学校	「課題解決に必要な資質・能力を育む授業づくり」 ～生徒の主体性を引き出す活動の工夫を通して～

文部科学省教育支援体制整備事業協力校

公立学校における帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業
＜センター校＞・葛飾小学校 ・葛飾中学校
＜連携協力校＞・若松小学校 ・三山東小学校 ・高根台中学校

千葉県福祉教育推進校

福祉教育 R4～R6
・三山小学校 ・三山東小学校
・三山中学校

千葉県NIE推進協議会実践指定校

NIE(すべての教室へ新聞を運動)
R4～R5
・芝山東小学校

地域で進める小中一貫教育

近年、学校段階間の接続の大切さが重要視されています。本年度より小中一貫教育の指定校に研究指定された、大穴地区の3校(大穴中・大穴小・大穴北小)では、夏休みに各小学校で開催されたサマースクール(学習会)に大穴中の生徒が参加し、解き方を教えたり、丸付けをしたりする取組が行われました。



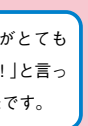
とても優しく教えてもらいました。私も中学生になったら、下級生に教えてあげられるになりたいです。



小学生



わかりやすく説明することがとても難しかったです。「わかった!」と言ってもらえてとても嬉しかったです。



中学生

※各校の研究公開は、教育関係者向けの公開となります